



豊明市様
令和5年度一般介護予防事業評価事業
事業報告書

2024年3月25日

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

- 
1. **評価指標別 一般介護予防事業の評価結果 ……………p.3**
 2. **外部機関に提供可能な豊明市データ一覧 ……………p.21**
 3. **過去に実施したニーズ調査等の質問項目一覧 …… p.22**

1. 第8期計画指標一覧 ※

KPI	目標	指標	取得元	掲載期間	納品物
基本目標1：健康寿命を延伸する					
1-1	自らの心身機能の維持向上に繋がる多様な活動への参加頻度が上がる	多様な活動に週1回以上参加している市民の数	ニーズ調査	第7-9期	○
		介護予防事業の参加者数	※国への報告数	H30-R4	—
		おたがいさまセンターちゃっとの参加者数	年度末の委託事業実績報告	H29-R4	○
		高齢者ボランティアポイントの参加者数	サービス利用実績	H24-R4	○
1-2	獲得目標と達成期間が明確になった課題解決型のサービス提供になる	要支援者の通所・訪問サービス利用者に占めるC型サービスの利用割合	サービス利用実績	H28-R4	○
1-3	共に活動を継続する仲間ができてつながりが生まれる	週1回開催される通いの場の数	国実施に基づく市調査	H30-R4	—
1-4	生きる意欲が高まり毎日やることができ、生活が活動的になる	週1回以上外出している市民の割合	ニーズ調査 (国に対する報告)	第7-9期	○
1-5	要介護認定を受けるまでの年齢を遅らせる	健康寿命	KDB	H29-R4	○
		平均自立期間	KDB	H29-R4	○
1-6	身体機能の回復・維持	要支援認定者の1年後の重度化率	KDB	H29-R4	○
基本目標3：地域でふつうに暮らせるしくみを強化する					
3-1	困難を抱えた高齢者の暮らし困りごとに対する理解・洞察から未解決な地域の課題を把握し多様な主体で共有する	多職種合同ケアカンファレンス参加者数	市調査	H28-R4	○
3-2	困難を抱えた高齢者の暮らしを支える地域の関係者が増える	おたがいさまセンターちゃっとのサポーター数（活動実績）	サービス利用実績	H29-R4	○
		おたがいさまセンターちゃっとのサポーター活動時間（活動実績）	サービス利用実績	H29-R4	○
		高齢者への支援に関する地域の福祉的な協議の場（活動実績）	サービス利用実績	H30-R4	—
		高齢者への支援に関する地域の福祉的な活動の場（活動実績）	サービス利用実績	H30-R4	—
3-3	心身・認知機能の低下により発生するニーズを発信できる（支援者が把握することができる）	おたがいさまセンターちゃっとの利用者数（活動実績）	サービス利用実績	H30-R4	○
		おたがいさまセンターちゃっとの利用時間（活動実績）	サービス利用実績	H30-R4	○
		本人ミーティングの参加者数（活動実績）	サービス利用実績	R2-R4	○
3-4	高齢者の暮らしを支えるフォーマル・インフォーマルサービスが充実する	要支援者が活用できるインフォーマルな通いの場、生活支援の数	第8期計画	第7-8期	○
3-5	認知症になっても要介護状態になっても本人の意思が尊重され権利が守られる	施設入所検討率	在宅介護実態調査	第7-9期	○
3-6	ふつうに暮らせるしあわせ (well-being)	主観的健康観	ニーズ調査	第7-9期	○
		主観的幸福感	ニーズ調査	第7-9期	○

基本目標 1 : 健康寿命を延伸する

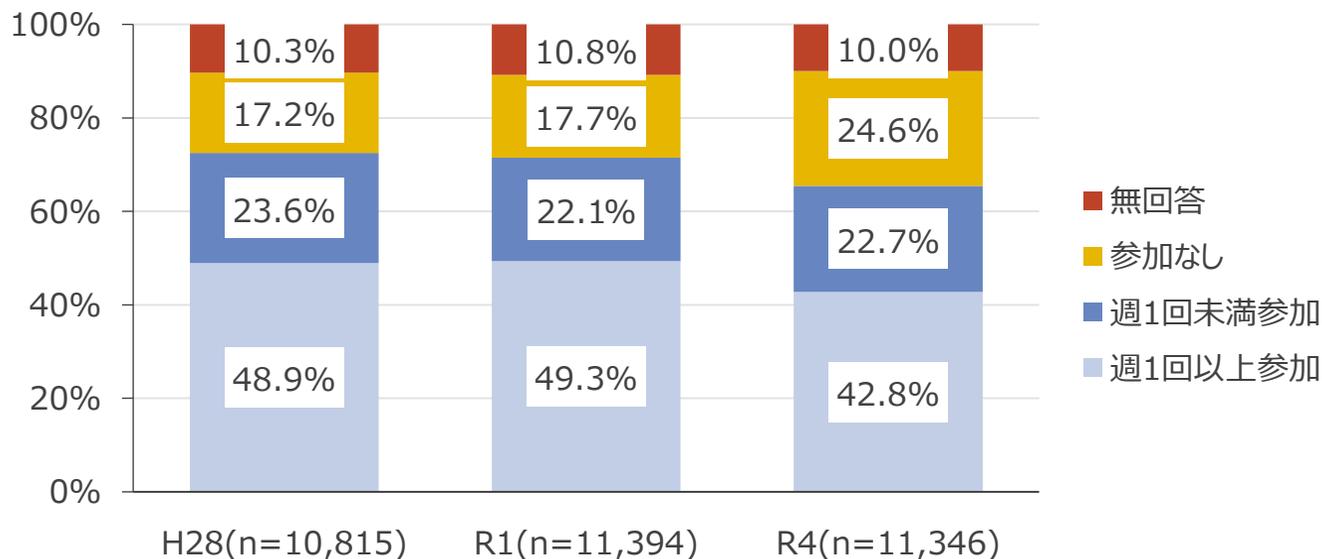
目標 1-1 : 自らの心身機能の維持向上に繋がる多様な活動への参加頻度が上がる

指標 1 : 多様な活動に週1回以上参加している市民の数

第9期計画指標 : 同左

- ✓ 地域活動や就労などの活動のいずれかに週に1回以上参加している市民は42.8%。
- ✓ 週1回未満（年に数回～月3回）は22.7%、いずれの活動にも参加していない市民は24.6%。
- ✓ 令和元年度と比較すると、「週1回以上参加」が6.5ポイント減少、「参加なし」が6.9ポイント増加。

■ 多様な活動に週1回以上参加している市民の割合の推移



※出典：豊明市住民健康実態調査（平成28年度、令和元年度、令和4年度）

算出方法：ボランティア活動、スポーツ関係のグループやクラブ、趣味関係のグループ、学習・教養サークル、まちかど運動教室・健康マージャン・地域サロンなどの介護予防のための集まり、老人クラブ、区・町内会・班、収入のある仕事のいずれかにおいて週1回以上参加していれば、多様な活動への週1回以上の参加「あり」として計算。

※備考：平成28年度は「まちかど運動教室・健康マージャン・地域サロンなどの介護予防のための集まり」の設問項目はなかった。

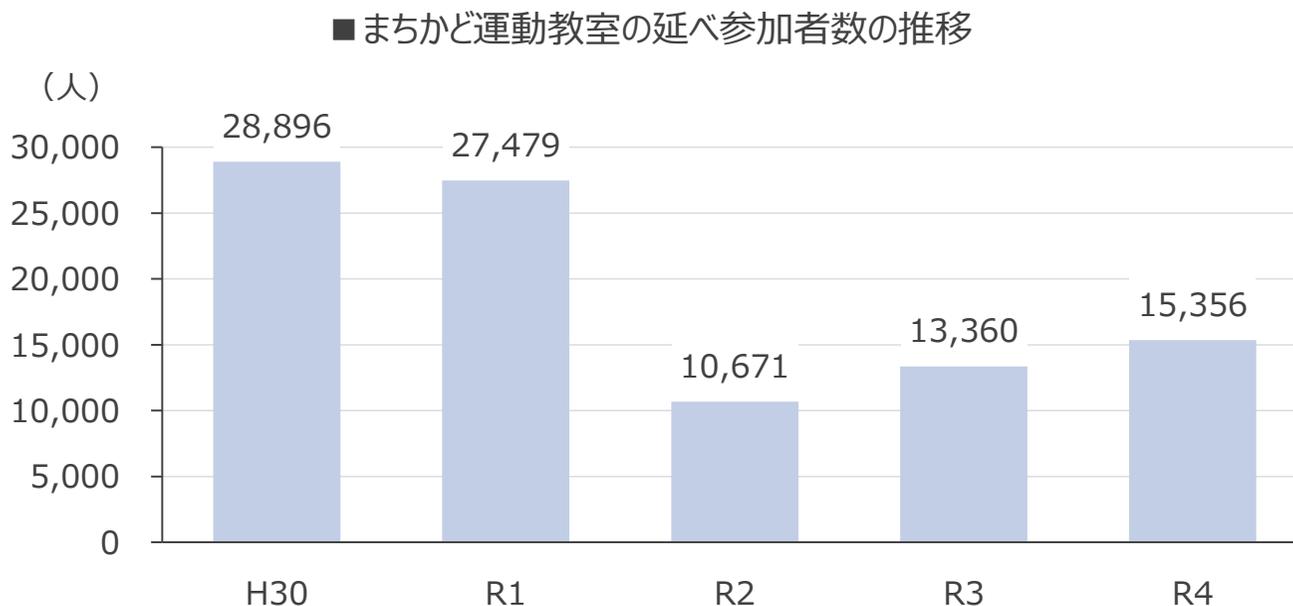
基本目標 1 : 健康寿命を延伸する

目標 1-1 : 自らの心身機能の維持向上に繋がる多様な活動への参加頻度が上がる

指標 2 : 介護予防事業の参加者数

第9期計画指標 : 「まちかど運動教室延べ参加者数」

✓ まちかど運動教室の参加者数は令和2年に半分以下に減少したが、令和3年以降徐々に増加している。



※豊明市提供による活動実績を集計

基本目標 1 : 健康寿命を延伸する

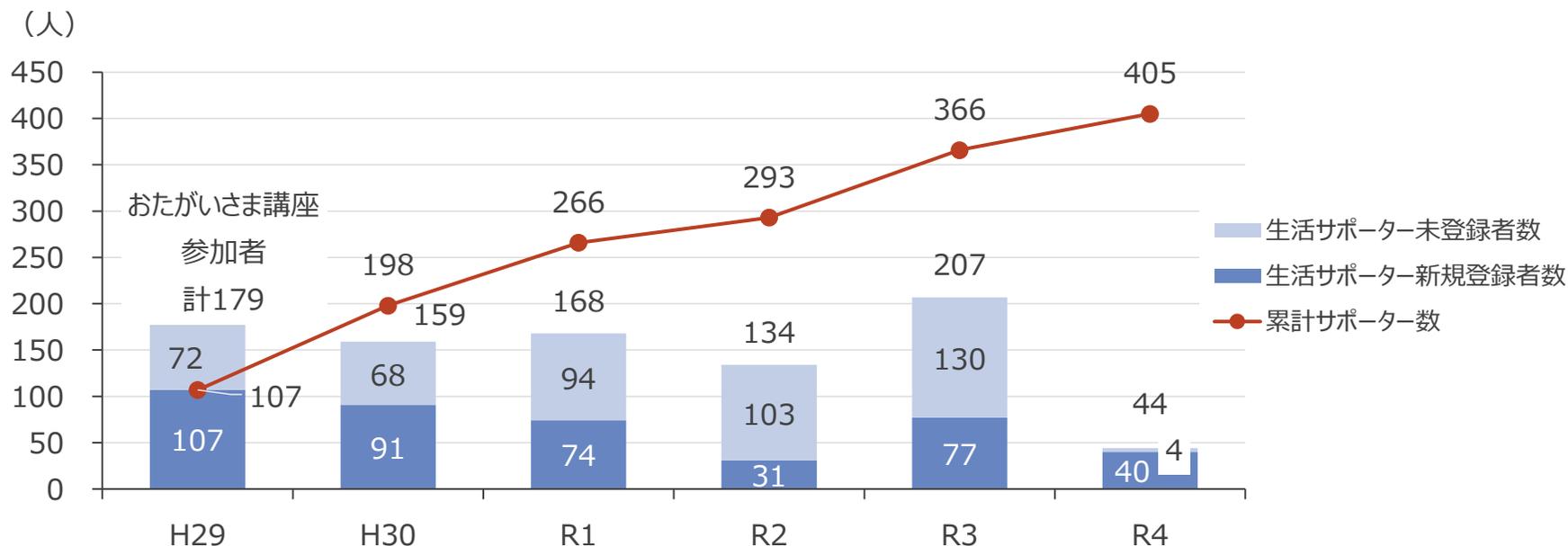
目標 1-1 : 自らの心身機能の維持向上に繋がる多様な活動への参加頻度が上がる

指標 3 : おたがいさまセンターチャットの参加者数

第9期計画指標：
「おたがいさまセンターチャットの累計サポーター数」

- ✓ サポーター候補を対象に開催するおたがいさま講座の参加者数は令和4年度に減少した一方で、おたがいさま講座に参加した者のうち90%が登録に至っている。

■ 累計サポーター数・サポーター新規登録者数の推移



※豊明市提供による活動実績を集計

基本目標 1 : 健康寿命を延伸する

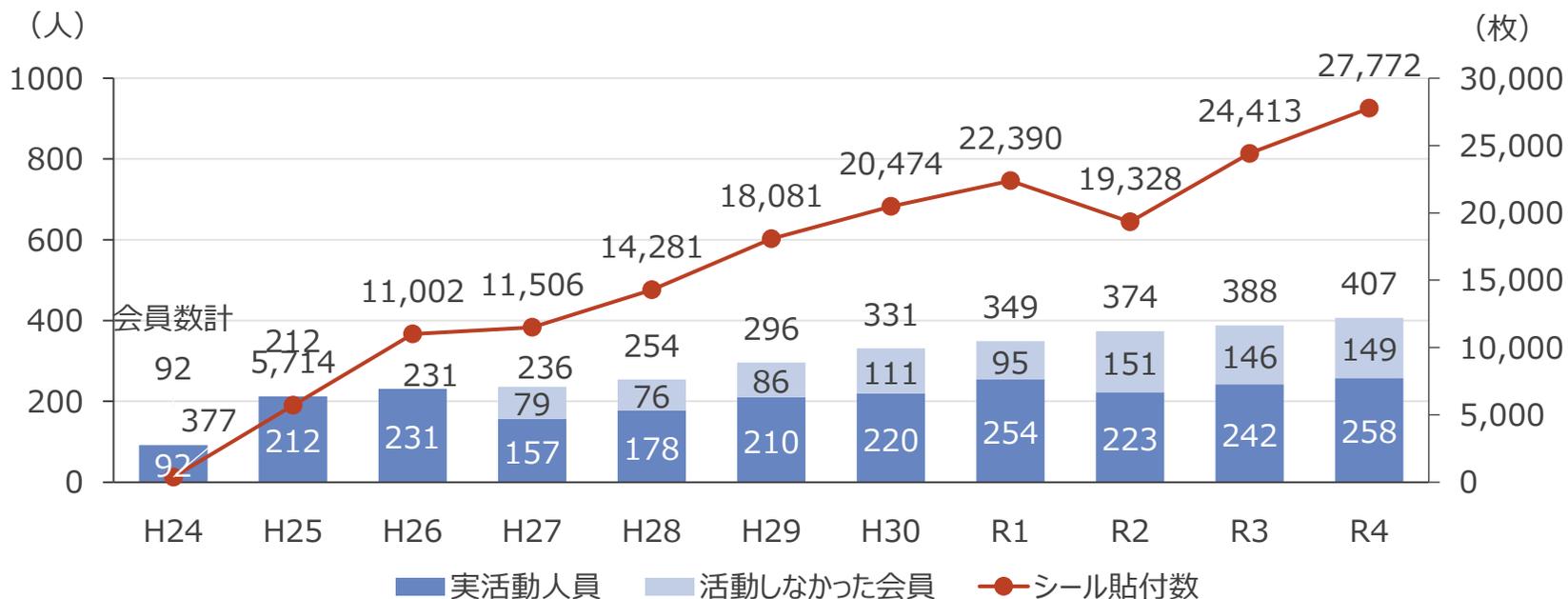
目標 1-1 : 自らの心身機能の維持向上に繋がる多様な活動への参加頻度が上がる

指標 4 : 高齢者ボランティアポイントの参加者数

第9期計画指標：同左
(シール貼付活動に参加した者の数)

- ✓ ボランティアポイントの会員数は、平成24年の開始時と比較して令和3年度は4.2倍に増加している。
- ✓ うち、シール貼付活動に実際に関わった会員（実活動人員）、ならびにシールの添付数については、いずれも令和元年まで順調に増加した後、令和2年にいったん減少に転じた。令和3年度にはふたたび増加傾向に戻っている。

■ ボランティアポイント会員数、うち実活動会員数、シール貼付数の推移



※豊明市提供による活動実績を集計

基本目標 1 : 健康寿命を延伸する

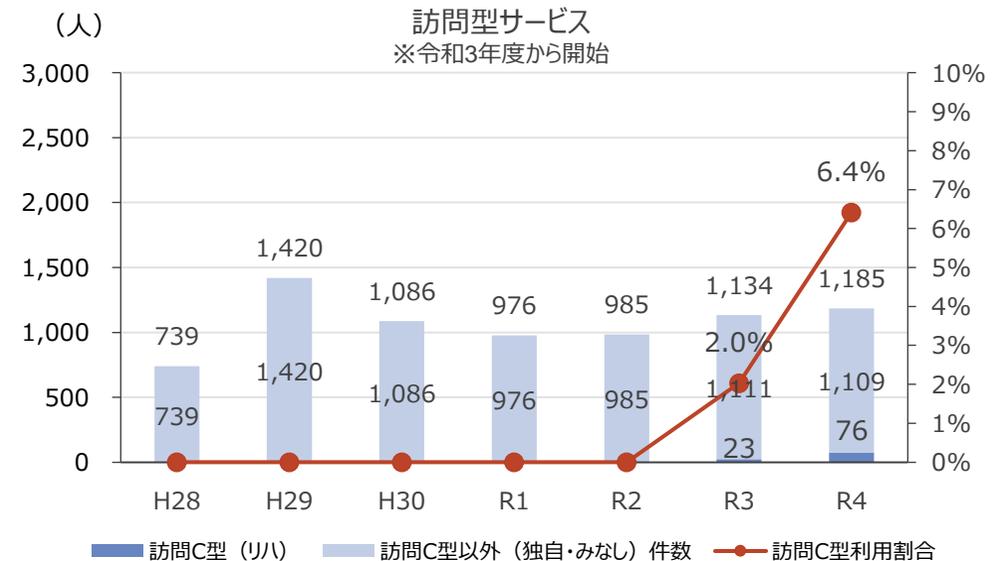
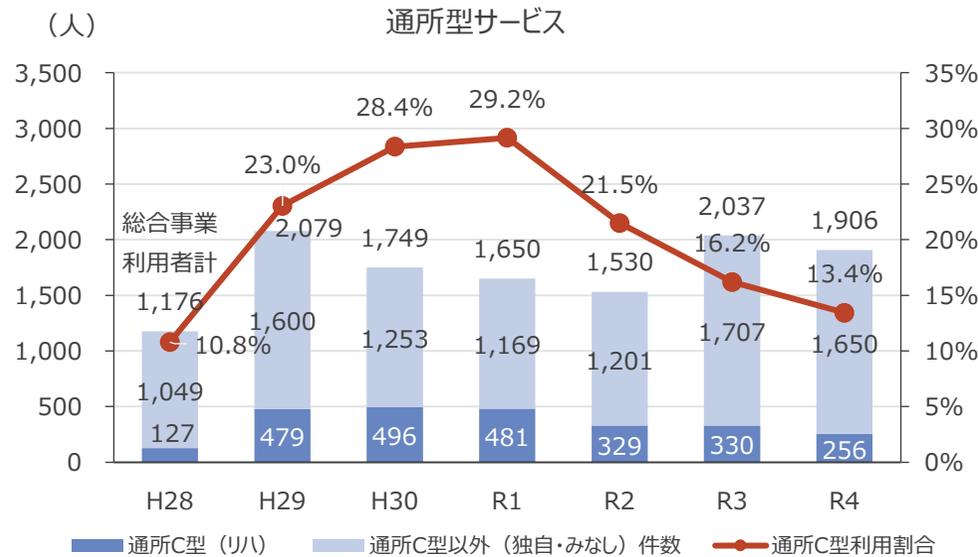
目標 1-2 : 獲得目標と達成期間が明確になった課題解決型のサービス提供になる

指標 1 : 要支援者の通所・訪問サービス利用者に占めるC型サービスの利用割合

第9期計画指標 : 同左

- ✓ 総合事業における通所C型の利用者は、開始年度を除く平成29年度から令和元年度まで、概ね毎年延べ480人前後であったが、令和2年度以降は減少している。また、C型の利用割合も減少の傾向がある。
- ✓ 訪問C型の利用者は、開始年度である令和3年度は23人、令和4年度は76人であった。利用者数の増加にともない、C型の占める割合は2.0%から6.4%と大きくなった。

■ 要支援者の通所・訪問サービス利用者に占めるC型サービス利用者数ならびに割合



※豊明市提供による活動実績を集計

※各年の利用者数は各月の給付件数の合計であるため、実人数ではなく延べ人数である。

※利用割合は、通所型サービス、訪問型サービスそれぞれ、C型利用者数/総合事業サービス全体の利用者数で算出

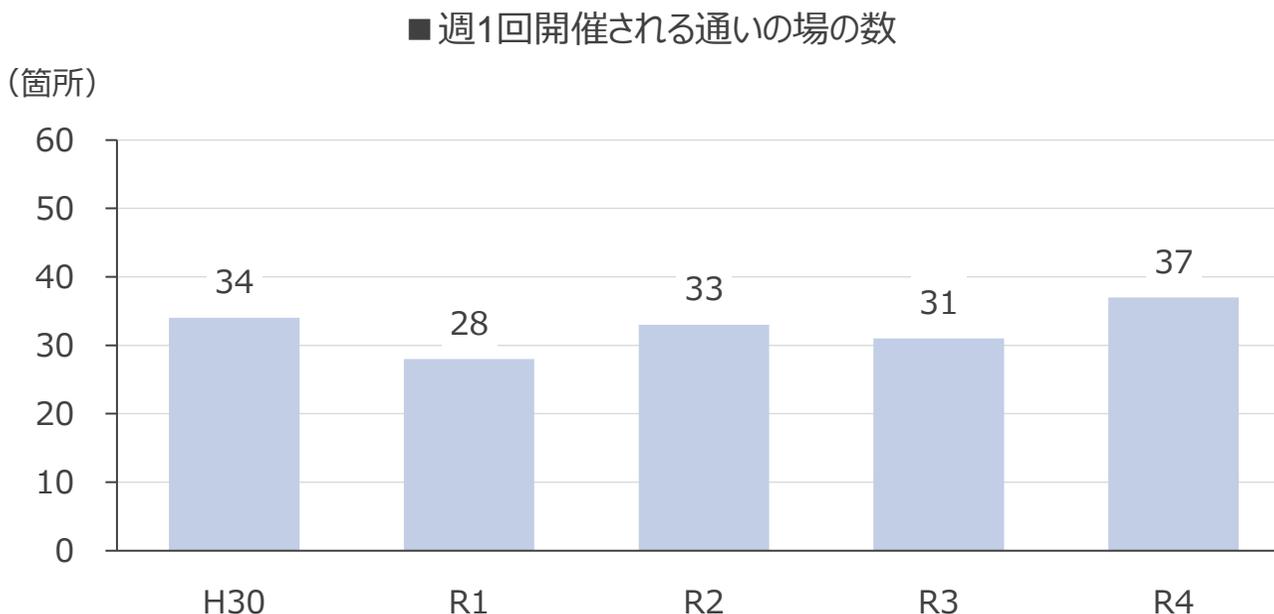
基本目標 1 : 健康寿命を延伸する

目標 1-3 : 共に活動を継続する仲間ができてつながりが生まれる

指標 1 : 週1回開催される通いの場の数

第9期計画指標 : 高齢者ボランティアポイント会員登録者数

✓ 週1回開催される通いの場の数は、平成30年度から30か所程度を維持している。



※出典 : 豊明市 第8期高齢者福祉・介護保険事業計画、豊明市 第9期高齢者福祉・介護保険事業計画

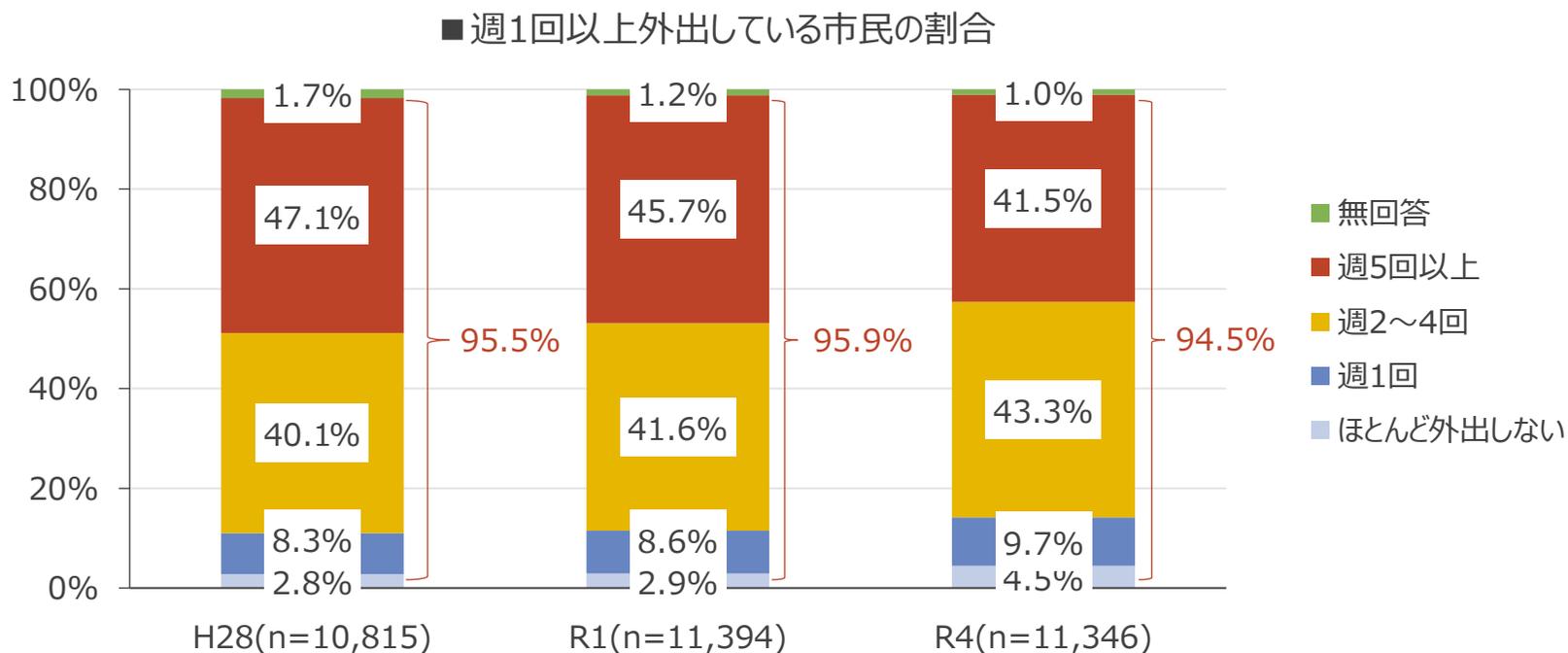
基本目標 1 : 健康寿命を延伸する

目標 1-4 : 生きる意欲が高まり毎日やることがあり生活が活動的になる

指標 1 : 週1回以上外出している市民の割合

第9期計画指標 : 同左

- ✓ 65歳以上の高齢者のうち、週1回以上外出している高齢者の割合は約95%である。
- ✓ 平成28年度調査から令和4年度調査にかけて、結果の傾向にはほとんど差異がない。



※出典 : 平成28年住民健康実態調査、令和元年住民健康実態調査、令和4年住民健康実態調査

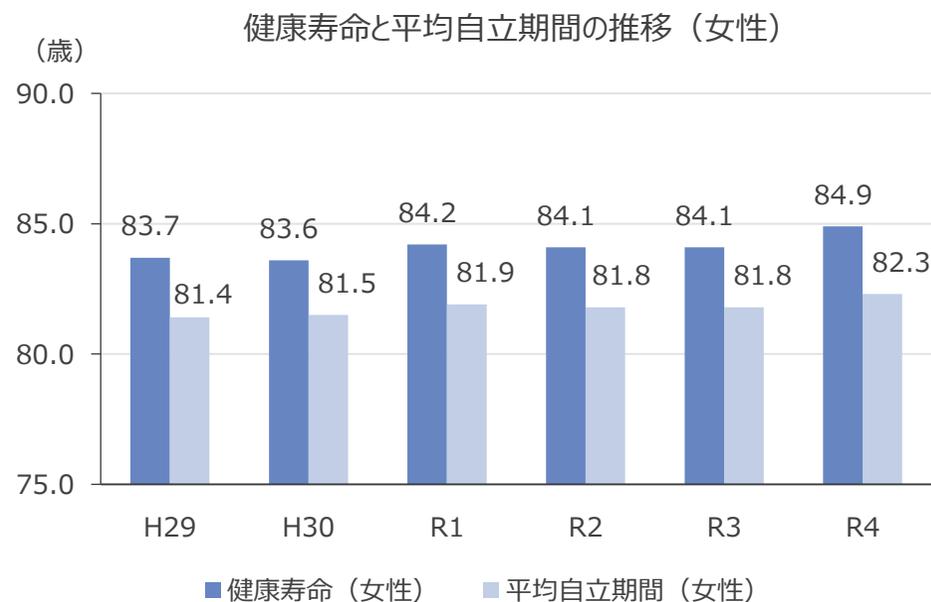
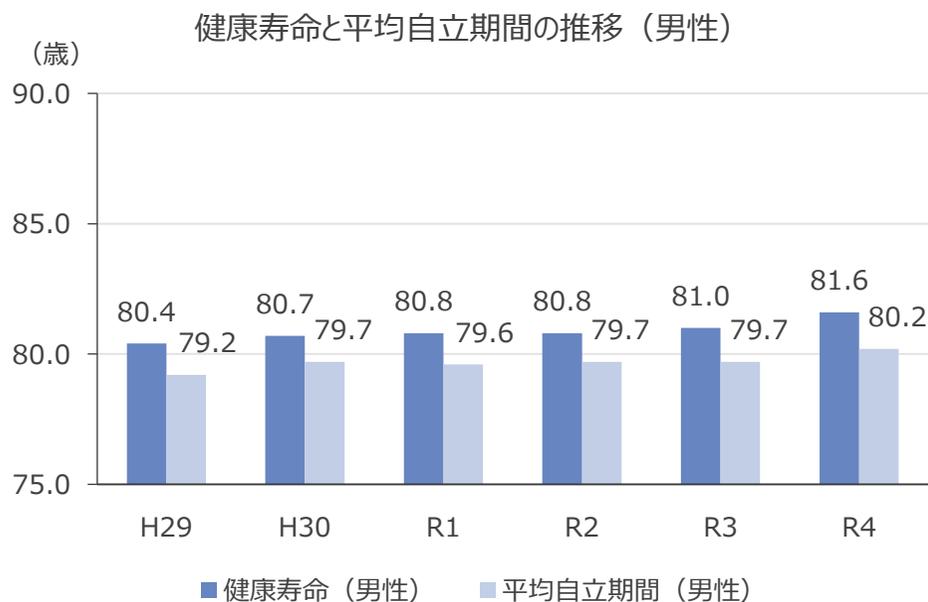
基本目標 1 : 健康寿命を延伸する

目標 1-5 : 要介護認定を受けるまでの年齢を遅らせる

指標 1 : 健康寿命・平均自立期間

第9期計画指標 : 同左

- ✓ 平成29年度から令和4年度にかけて、男性の健康寿命は80.4歳から81.6歳、平均自立期間は79.2歳から80.2歳と、延伸の傾向がある。
- ✓ 平成29年度から令和4年度にかけて、女性の健康寿命は83.7歳から84.9歳、平均自立期間は81.4歳から82.3歳と、延伸の傾向がある。



※出典 : KDBデータ

※健康寿命 : KDBの健康スコアリング (介護) の平均自立期間 (要介護2以上)

※平均自立期間 : KDBの健康スコアリングの平均自立期間 (要支援・要介護)

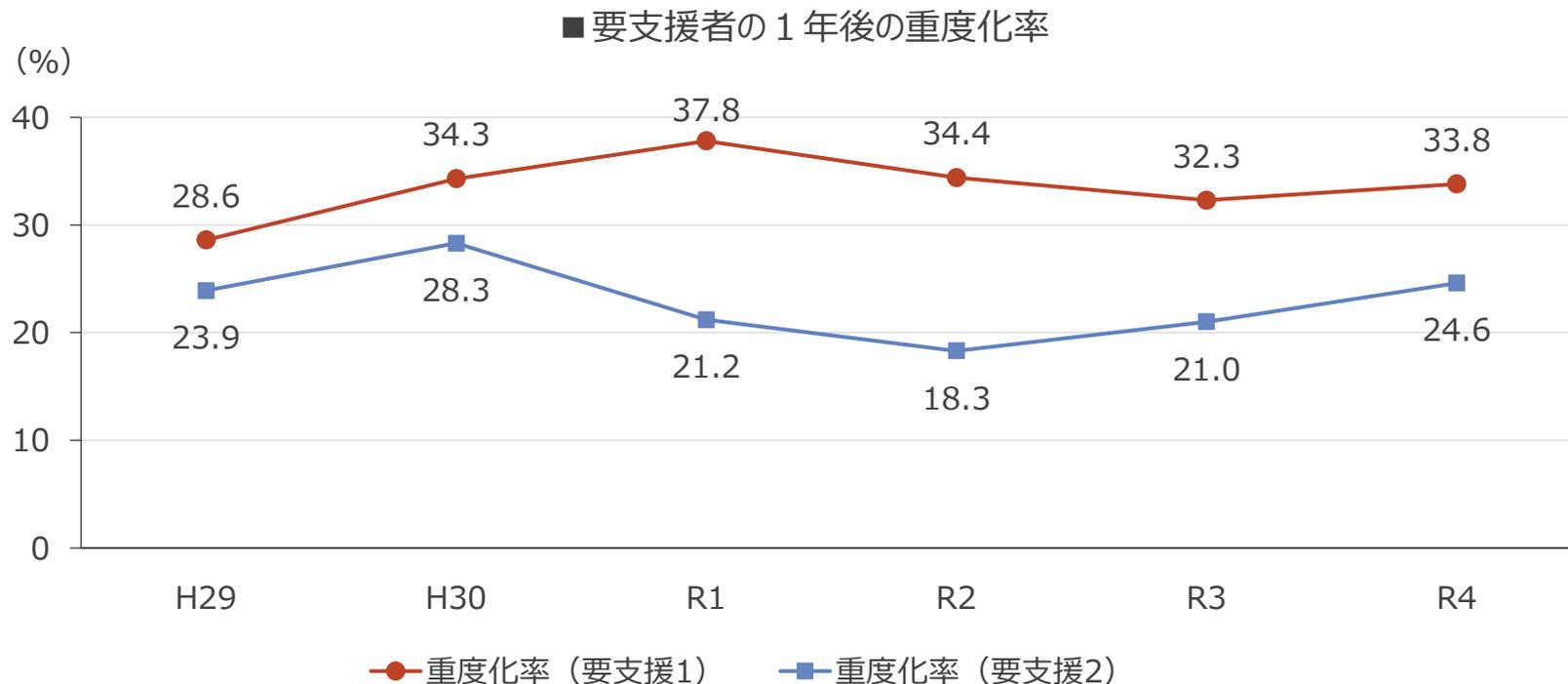
基本目標 1 : 健康寿命を延伸する

目標 1-6 : 身体機能の回復・維持

指標 1 : 要支援認定者の1年後の重度化率

第9期計画指標 : 同左

- ✓ 要介護1と認定された高齢者の1年後の重度化率は、令和元年度の37.8%をピークとして、令和4年度は33.8%と、33%前後で推移している。
- ✓ 要支援2と認定された高齢者の1年後の重度化率は、最大であった平成30年度の28.3%と比較すると令和4年度は24.6%と小さくなっているが、直近2年は増加の傾向がある。



※出典 : KDBデータ

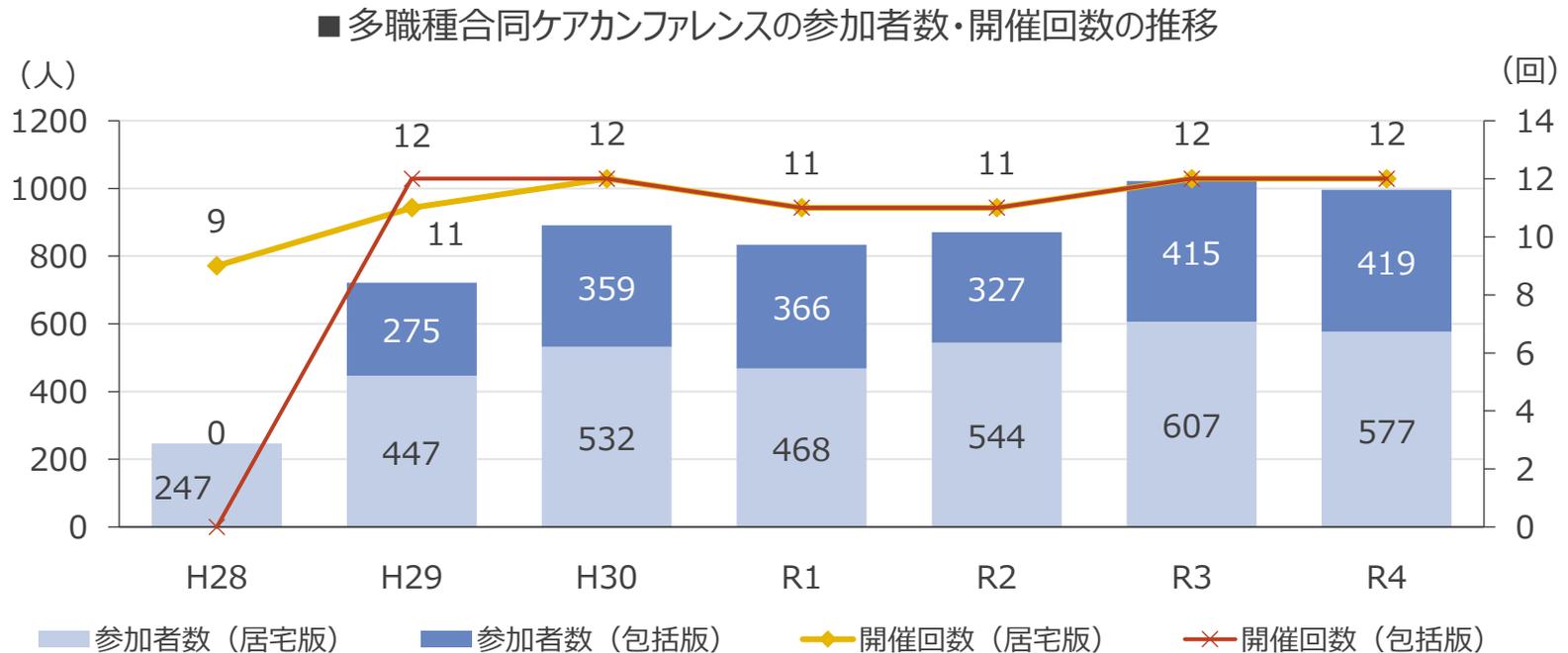
基本目標 3： 地域でふつうに暮らせるしくみを強化する

目標 3-1： 困難を抱えた高齢者の暮らし困りごとに対する理解・洞察から未解決な地域の課題を把握し 多様な主体で共有する

指標 1： 多職種合同ケアカンファレンス参加者数

第9期計画指標：同左

- ✓ 多職種合同ケアカンファレンスの参加者数は、令和3年度、令和4年度と年間累計1,000名程度である。
- ✓ 開催回数は平成29年度以降、包括版も居宅版も年間12回前後を維持している。



※豊明市提供による活動実績を集計

※「包括版」：地域包括支援センターが担当する要支援者のケース、「居宅版」：市内の居宅介護支援事業所が担当する要介護者のケース

基本目標 3 : 地域でふつうに暮らせるしくみを強化する

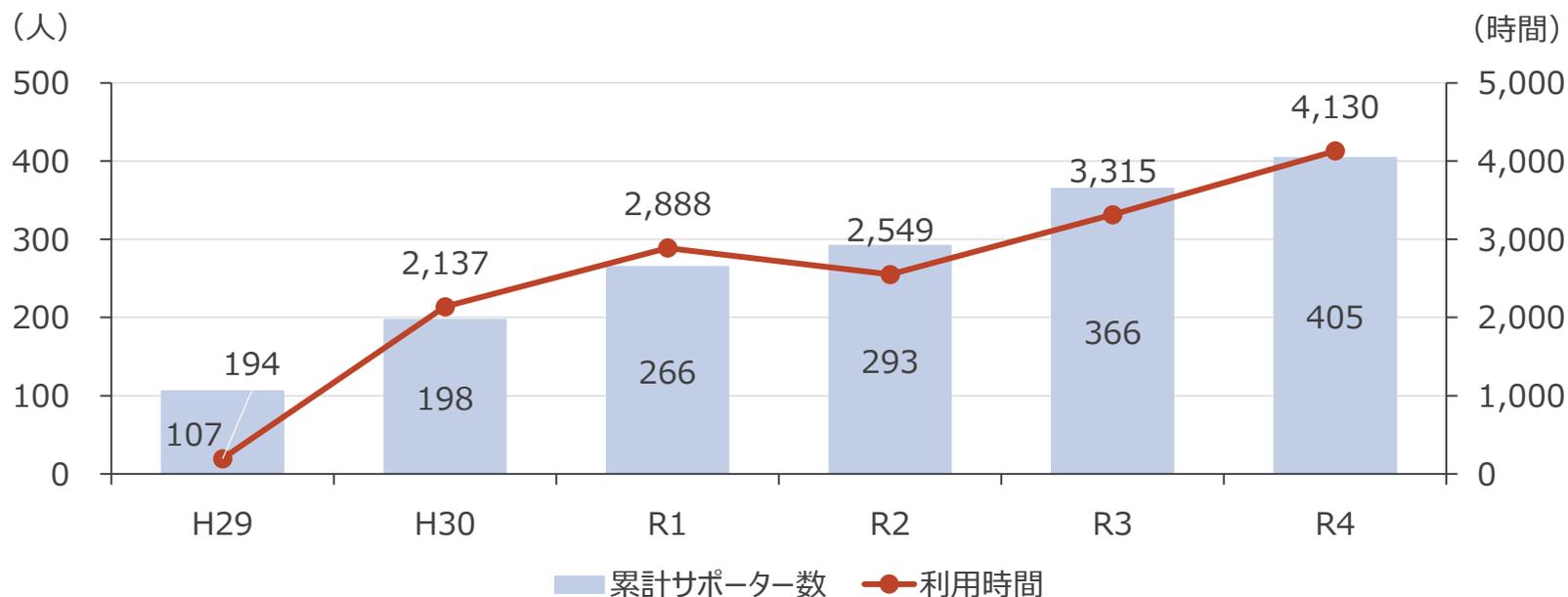
目標 3-2 : 困難を抱えた高齢者の暮らしを支える地域の関係者が増える

指標 1 : おたがいさまセンターチャットのサポーター数・活動時間

第9期計画指標 : 同左

- ✓ 累計登録者数は、開始年度の平成29年度と比較すると令和4年度には約4倍に増加した。
- ✓ サポーターの総活動時間は開始以来増加傾向にある。

■ サポーター累計登録者数と年間総利用時間の推移



※ チャットによるサポートは平成29年11月9日に開始
※ 豊明市提供による活動実績を集計

基本目標 3 : 地域でふつうに暮らせるしくみを強化する

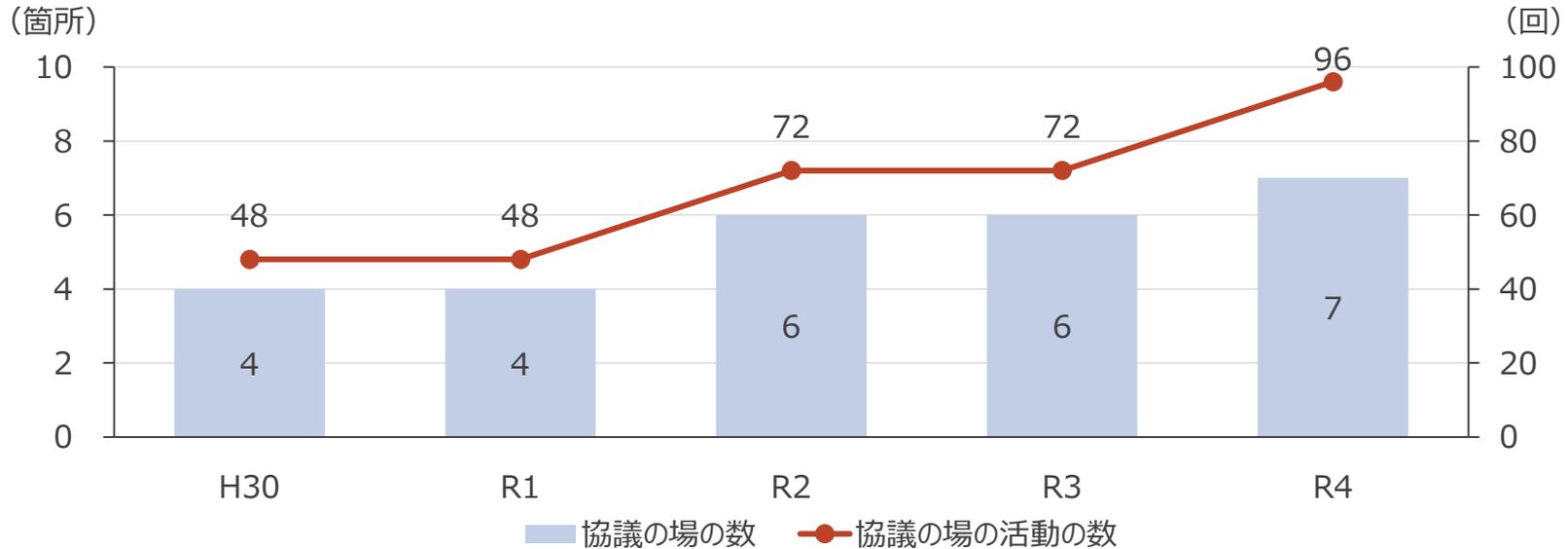
目標 3-2 : 困難を抱えた高齢者の暮らしを支える地域の関係者が増える

指標 2 : 高齢者への支援に関する地域の福祉的な協議の場・活動の場

第9期計画指標：おたがいさまセンターちゃっとのサポーター数・活動時間

- ✓ 高齢者への支援に関する地域の福祉的な協議の場※の数は平成30年度は4箇所だったところ令和4年度には7箇所に増加した。
- ✓ 年間の活動回数についても、平成30年度は48回だったところ、令和4年度には96回に増加した。

■ 高齢者への支援に関する地域の福祉的な協議の場の数、活動回数



※桶狭間、中島、仙人塚、三ツ谷、二村台1、ゆたか台、館

※豊明市提供による活動実績を集計

基本目標 3 : 地域でふつうに暮らせるしくみを強化する

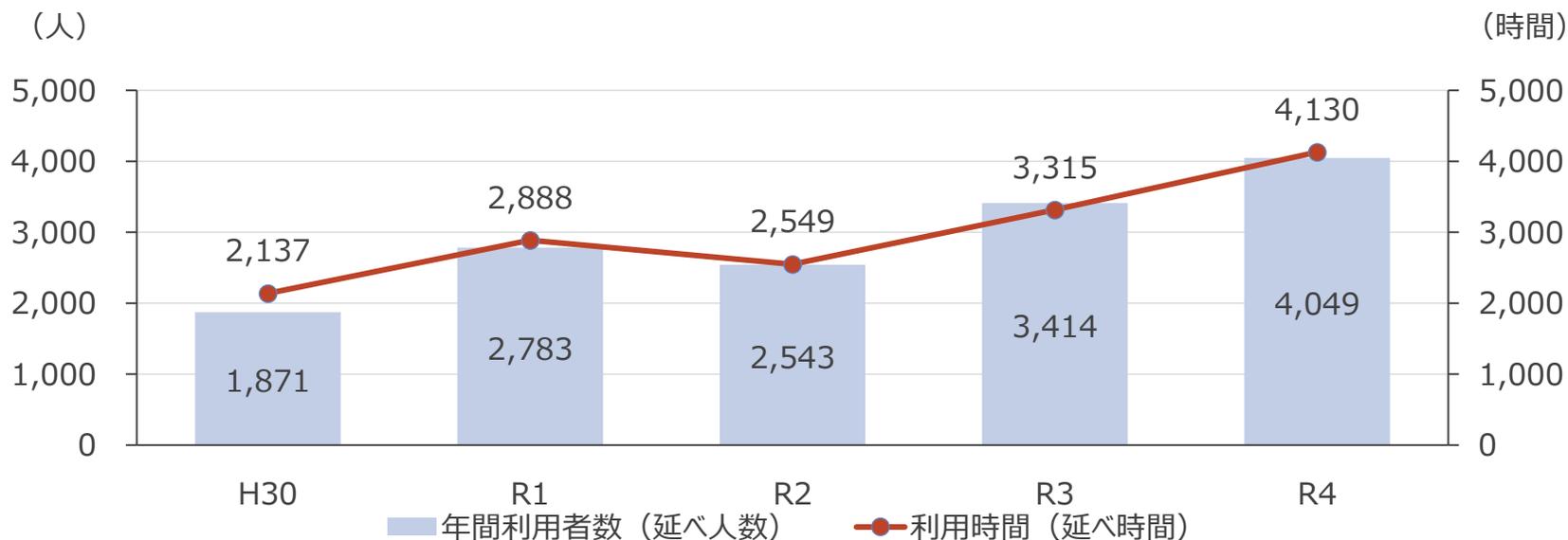
目標 3-3 : 心身・認知機能の低下により発生するニーズを発信できる (支援者が把握することができる)

指標 1 : おたがいさまセンターチャットの利用者数・利用時間

第9期計画指標 : 同左

- ✓ チャットの年間利用者数 (延べ人数) は令和2年度に漸減したものの、増加傾向にある。
- ✓ 利用時間は、平成30年度は2,137時間であったが、令和4年度は4,130時間と、増加している。

■ 年間利用者数 (延べ人数) と利用時間 (延べ時間) の推移



※ 利用件数と年間利用者数 (延べ人数) は同数。
※ チャットによるサポートは平成29年11月9日に開始された。
※ 豊明市提供による活動実績を集計

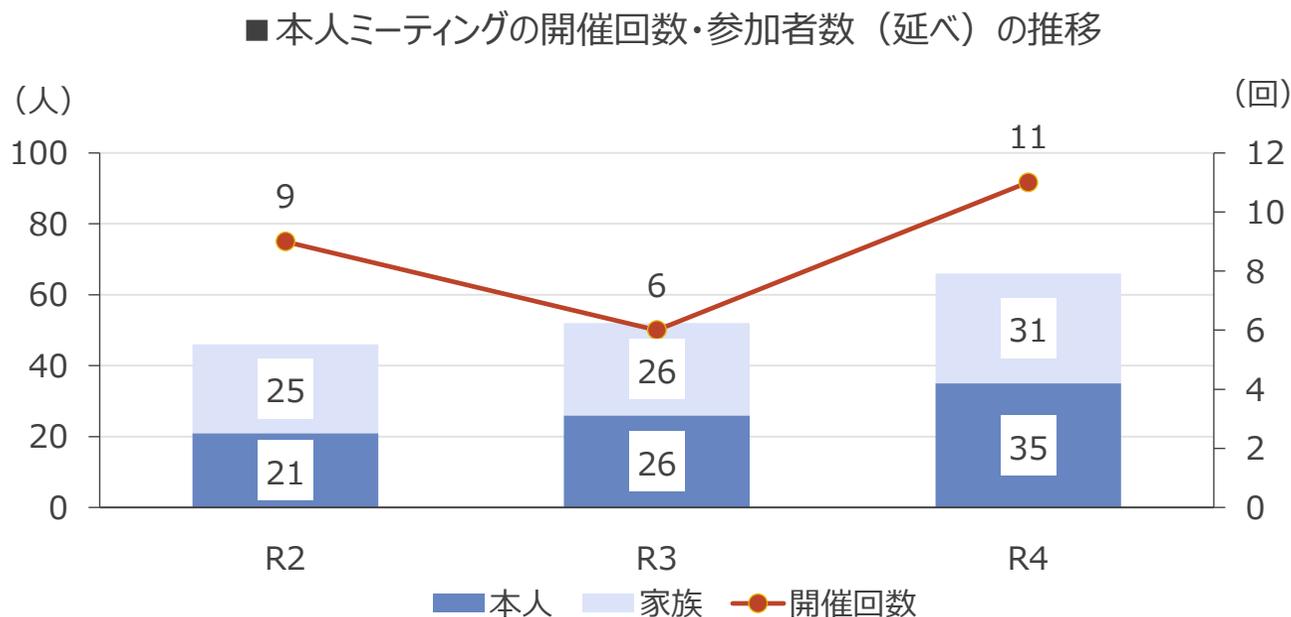
基本目標 3 : 地域でふつうに暮らせるしくみを強化する

目標 3-3 : 心身・認知機能の低下により発生するニーズを発信できる (支援者が把握することができる)

指標 2 : 本人ミーティングの参加者数 (活動実績)

第9期計画指標 : 同左

- ✓ 本人ミーティングの延べ参加者数は、本人、家族をあわせて令和2年度は46人、令和3年度は52人、令和4年度は66人であった。
- ✓ 本人ミーティングの開催回数は令和2年度は9回、令和3年度は6回、令和4年度は11回であった。



※本人ミーティングの開始は令和2年1月7日

※令和3年度は令和4年2月と3月に各1回の開催を予定していたが中止となった。

※豊明市提供による活動実績を集計

基本目標 3 : 地域でふつうに暮らせるしくみを強化する

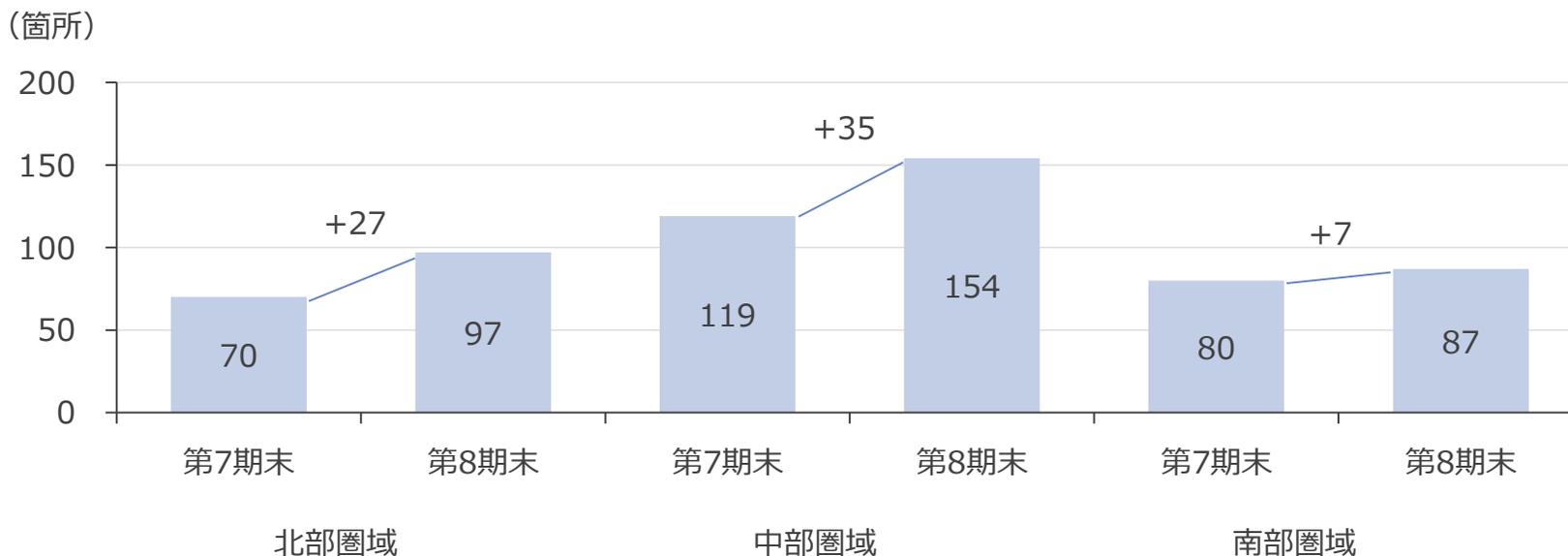
目標 3-4 : 高齢者の暮らしを支えるフォーマル・インフォーマルサービスが充実する

指標 1 : 要支援者が活用できるインフォーマルな通いの場、生活支援の数

第9期計画指標 : 同左

✓ 要支援者が活用できるインフォーマルな通いの場、生活支援の数は、第7期末から第8期末にかけて、いずれの圏域においても増加している。

■ 圏域ごとの要支援者が活用できるインフォーマルな通いの場、生活支援の数



※出典 : 豊明市 第8期高齢者福祉・介護保険事業計画、豊明市 第9期高齢者福祉・介護保険事業計画

基本目標 3 : 地域でふつうに暮らせるしくみを強化する

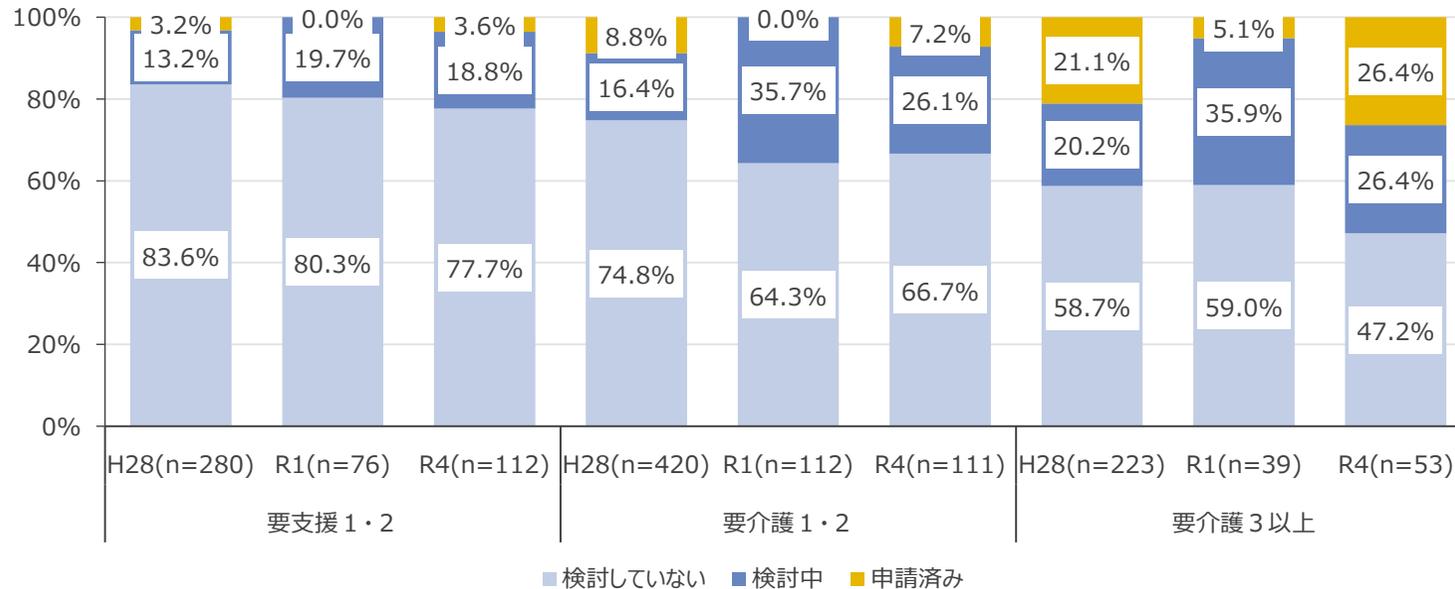
目標 3-5 : 認知症になっても要介護状態になっても本人の意思が尊重され権利が守られる

指標 1 : 施設入所検討率

第9期計画指標：主観的健康感・主観的幸福感

- ✓ 施設入所を「検討していない」割合は、要支援1・2では漸減傾向にあり、要介護1・2は令和元年度より2.4ポイント増えて横ばい傾向になっている一方、要介護3以上では令和元年度から11.8ポイント減少した。
※調査の実施方法等が異なることに留意が必要。

■ 施設等の検討状況 在宅介護実態調査



※比較時の留意事項
 ①調査実施方法の差
 H28、R4：郵送配布（本人または家族が回答）。
 R1：認定調査時に同席した家族介護者が回答。
 ②無回答を除いて集計していること、またその算出方法の差
 H28：調査報告書に掲載されている割合（%）から実数を再計算し、無回答を除いた割合を算出した。
 R1・R4：元データを集計

※出典（R4）：豊明市第9期在宅介護実態調査（本人・家族介護者対象）
 ※出典（R1）：豊明市第8期在宅介護実態調査（家族介護者対象）
 ※出典（H28）：豊明市 第7期高齢者福祉計画・介護保険事業策定にかかるニーズ調査報告書（在宅介護実態調査）

基本目標 3 : 地域でふつうに暮らせるしくみを強化する

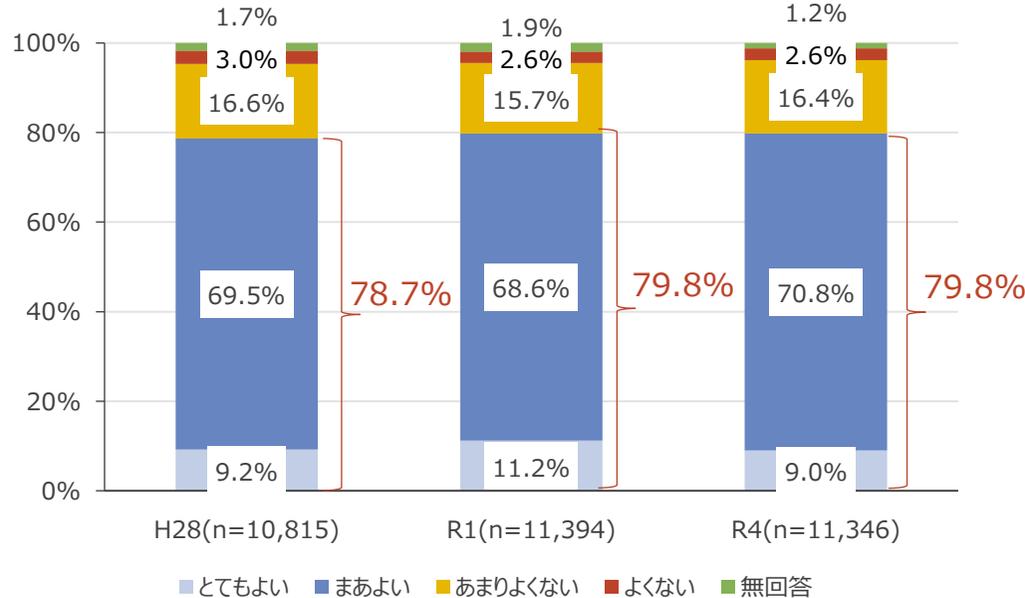
目標 3-6 : ふつうに暮らせるしあわせ (well-being)

指標 1 : 主観的健康観・主観的幸福感

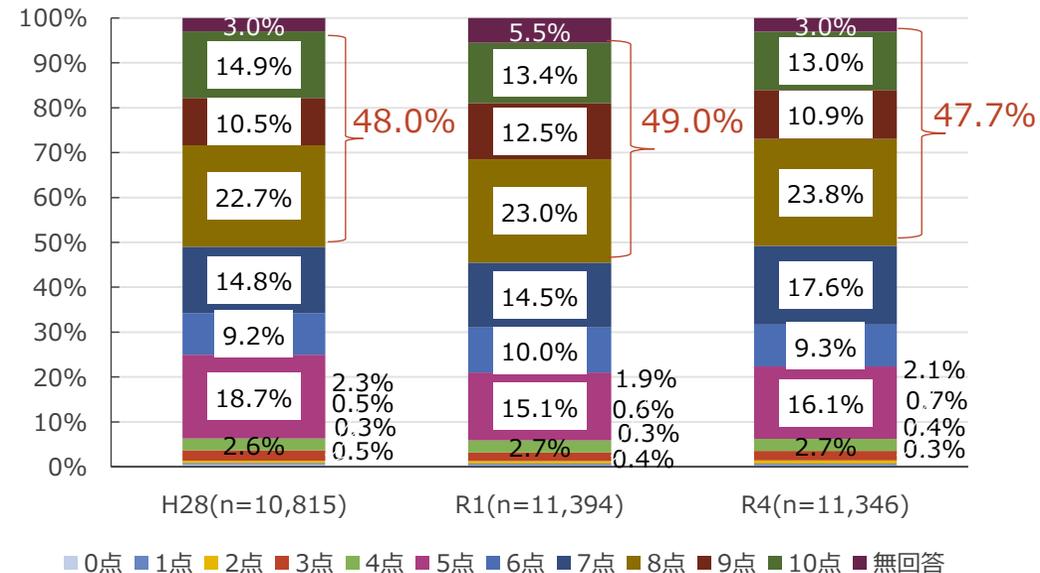
第9期計画ではインパクトから長期アウトカムのKPIに移動

- ✓ 主観的な健康観について「とてもよい」と「まあよい」を合わせた回答の割合は、平成28年度調査、令和元年調査、令和4年調査のいずれもほぼ80%であった。
- ✓ 主観的な幸福感を10点満点中8点以上と回答した割合は、平成28年度調査、令和元年調査、令和4年調査のいずれもほぼ50%であった。

■ 主観的健康観



■ 主観的幸福感



※出典：平成28年住民健康実態調査、令和元年住民健康実態調査、令和4年住民健康実態調査

2. 外部機関に提供可能な豊明市データ一覧

分類	データ名称	時点	件数	備考		
2022年整理	介護被保険者番号関係	2021年豊明市被保険者台帳 (KWAQ1)	2022年 1月11日時点	29,779件	月次-月次確認各種-当月異動分被保険者情報出力 (アドワールド)	
		要介護認定情報 (受給者台帳)		11,451件		アドワールドバッチ処理
		事業対象者 給付実績		29件		アドワールドバッチ処理
	一般介護予防事業	らくらす利用実績	2016-2019年度 2017-2020年		延べ289,162件 (トリトンより抽出)	
2020年整理	介護被保険者番号関係	2019年豊明市被保険者台帳	2019年 11月1日時点	17,893件	うち健康実態調査対象15,822件、在宅実態調査対象1969件	
		資格喪失者リスト	2020年 5月8日時点	6,361件	2010年1月1日以降の資格認定・喪失者リスト	
		要介護認定情報	2010-2019年	6,291件	各年10月末日時点の認定者情報。	
	国保・後期関係	国保情報_全番号			61,779件	
		後期情報_全番号			14,700件	
		国保_介入対象者一覧 (栄養・重症化予防等)	H29		18,356件	65歳未満含む。
			H30		8,628件	同一人物ID重複あり (データ内容自体は別々)
			R1		13,498件	
		後期_介入対象者一覧 (栄養・重症化予防等)	H29		9,203件	
	H30			9,664件		
	R1			9,590件		
	総合事業関係	ちゃっとリスト	H31年4月から R2年3月		178件	新ID対応なし54件 各利用者の利用実績データあり
			C型利用者		248件	新ID対応なし51件
新規介護予防プラン作成者 (ケアマネジメント一覧)		H29		140件		
		H30		66件		
	R1		155件	新ID対応なし1件		
ニーズ調査	2019年健康実態調査回答者リスト	2019年	11,397件	被保番不明18件 2019年11月1日時点の台帳を元に65歳以上高齢者に送付した調査		
	2016年健康実態調査回答者リスト	2016年	10,815件	被保番不明93件、被保番重複2組4件		
在宅介護実態調査	2019年在宅介護実態調査回答者リスト	2019年	954件	新ID対応のない5件は除外		
	2016年在宅介護実態調査回答者リスト	2016年	1,096件	被保番不明4件		

※全データに対して、乱数発生により被保険者番号とは無関係の新規のIDを割り当て済

3. 過去に実施したニーズ調査等の質問項目一覧

- ✓ 第7期、第8期、第9期策定時に実施した調査の質問項目を一覧に整理した。
- ✓ 第9期計画の策定において、評価指標を検討する際に参考資料とした。

ファイル名：「ニーズ調査等質問項目一覧.xlsx」

調査名	平成28年 (第7期策定時)	令和元年 (第8期策定時)	令和4年 (第9期策定時)	対象者
住民健康実態調査	○	○	○	65歳以上の要支援2までの市民
在宅介護実態調査	○	○	○	本人・家族介護者対象
在宅生活改善調査	—	○	○	介護支援専門員対象

参考

- 基本チェックリスト
- 後期高齢者質問票